

(仮称) 厚木市情報化推進計画 (2021~2026)

に関する意見交換会について

政策等の議題(テーマ)の名称及び検討事項	(仮称)厚木市情報化推進計画(2021~2026)に関する意見交換会		
開催日時	令和2年9月1日(火) 午後7時から午後7時 55 分まで		
開催場所	厚木市役所本庁舎4階大会議室		
出席者数	16 人		
担当課	情報政策課	結果公開日	令和2年 10 月 15 日
会議の経過	1 開会 2 あいさつ 3 概要説明 4 意見交換 5 閉会		
	質問・意見の概要	市の考え方	
1	小中学校のICT化や、教育に対する支援は、計画に含まれているか。	市全体の最適化に取り組むITガバナンスとして、助言、相談及び導入支援等を行っています。また、小中学校のICT化や教育支援等は、教育委員会が策定する厚木市学校教育情報化推進実施計画に基づいて推進しています。 なお、厚木市情報化推進計画では、あらゆる年代の人々がICT利活用の恩恵を享受できることを目指します。	
2	デジタル化の基本原則(デジタルファースト、ワンスオンリー、コネクテッド・ワンストップ)の考え方は、とても良いと感じた。 教育現場に Wi-Fi の整備を進めてほしい。また、災害時に転用できるようにしてほしい。	本計画に基づく情報化の推進に当たっては、デジタル化の基本原則を考慮した上で、市民サービスの向上を図っていきます。 また、教育現場への Wi-Fi の整備は、現在、教育委員会において整備を進めています。災害時における一般利用への転用については、関係各課等と検討していきます。	
3	公民館などの公共施設でWeb会議や映像配信を行うための Wi-Fi 環境を整えてほしい。	Wi-Fi 環境は、本市を訪れる方々が多いと考えられる駅周辺や荻野運動公園などから整備しています。今後の設置個所について、全体の利用状況等を踏まえ検討していきます。 公民館については、社会情勢を踏まえ、関係各課等と検討していきます。	

4	<p>情報格差が広がらないような対策を進めてほしい。 スマートフォンなどを利用した行政手続は、活用できない人もいるので、二元化した方がよい。</p>	<p>本計画では、施策を進めるに当たり配慮する視点の一つとして、情報格差を挙げています。ICTの利活用による格差が生じることのないよう十分配慮し取り組んでいきます。</p>
5	<p>市ホームページについて、声で検索できる等、使いやすさを工夫してほしい。</p>	<p>市ホームページは、令和3年4月のリニューアルに向け、デザインや検索方法などの見直しを進めています。より使いやすく、探しやすいホームページを目指します。</p>
6	<p>5月末で終了したマイタウンクラブに代わるものは検討しているか。</p>	<p>マイタウンクラブとしてのサービスは終了となりましたが、これまでマイタウンクラブとして提供してきました図書予約システム、公共施設予約システム、講座予約システム等については、引き続き新システムとしてサービスを行っています。</p>
7	<p>市庁舎移転が本格化すると思うが、ハードの面でも情報化推進計画を反映することを期待したい。ICTで、市民だけではなく、職員の負担軽減、生産性向上が図られるようにしてほしい。</p>	<p>市庁舎の移転に際しては、来庁者の利便性の確保や効率的な施設運営のため、設備などのハード面におけるICTの活用も重要であると認識しています。また、市民サービスの更なる充実を目指し、職員の生産性の向上について検討していきます。</p>
8	<p>職員の業務生産性を向上させるためには、現状の庁内事務を見える化し、ICT技術を活用した改革を実施してはどうか。</p>	<p>限られた財源や人員の中で行政サービスの水準を維持・向上するためには、業務の改革が不可欠であると考えます。情報システムの在り方とともに、ICTの効果的な活用について検討していきます。</p>
9	<p>電子データとしての行政文書のセキュリティ対策はどのようなものか。また、どのように管理しているかを発信してほしい。</p>	<p>市が管理する電子データ等は、国のガイドライン等に基づき、外部からの不正アクセスやデータの持ち出しに対して厳重な対策を講じています。また、市のセキュリティに対する考え方を情報セキュリティポリシーとして定め、その一部を公開しています。本計画においても、情報セキュリティの徹底に努めます。</p>
10	<p>ローカル5Gなどの情報インフラの整備を進めてほしい。</p>	<p>携帯電話向けの通信規格である5Gの技術を企業や自治体が独自に利用するローカル5Gの活用は、高速大容量、超低遅延、多数同時接続等のメリットがあり、幅広い活用が期待されているものと認識しています。最新技術や利活用等の動向について、情報収集を行うとともに、利活用について研究していきます。</p>